

24時間停電になりました。 どうしますか？

1.授業の流れ（全5時限）

「エネルギー学習スキル Aコース（小学3年生）」を使用した授業の流れは以下のとおりである。

第1時限	作ってためして遊ぼう	①ロケットをとばそう ②カップめん人形を走らせよう ③うちわレーシングできょうそうだ！ ④風わをコロコロころがそう！
第2時限	エネルギーの基礎知識	①エネルギーって何だろう？ ②エネルギーのうつりかわりをしらべよう ③くらしの中の電気をしらべよう ④むかしと今のくらしをくらべてみよう
第3時限	テーマを決めよう	4つのテーマのうち、どのテーマを学習したいか決める
第4時限	テーマ別に調べてみよう	テーマ①本やしりょうでしらべよう テーマ②家や町の中を歩いてしらべよう テーマ③そうぞうをはたらかせてしらべよう テーマ④いろいろな人に聞いてしらべよう

A6 「【てい電】をテーマとした小ゼツを書こう

6-4 テーマ3 そうぞうをはたらかせてしらべよう!

ある日、とつぱら電気が停電した（てい電）。わたしたちのくらしは大きく変わりました。もし、わたしたちのくらしが、もしもしのときのことを思い出して、小ゼツを書いてみましょう。てい電にまついろいろなことを、説明します。

だ い 名 _____

「てい電」になる
ときや場所に関する
ことをつづいて
ください。

どうしていけばん
にまつか、ほつ
ちをさがす。

こまつたてんせつ
のようすを書きます。

こまつたことをこ
うしてかいてつづ
く。たいりつぼう
を明かして書きます。

▲エネルギー学習スキル Aコース (p.24)

2.想像をはたらかせる授業

説明1 これからおもしろい小説を書いていきます。シミュレーション作文です。真冬の停電です。24時間停電が続きます。どうやって過ごしたらよいか、いろいろ考えて小説を書く準備をしましょう。

指示1 1から5まで問題があります。1ができたら前に持ってきなさい。丸をもらったら次へどんどん進みます。時間は5分間です。

次のような意見が出た。

1.寒い冬、暖房はどうしますか？

- ・毛布を被る
- ・掘りごたつに入る
- ・マッチをつける
- ・布団にこもる
- ・手をあてて擦る
- ・摩擦であったかくする
- ・体を擦る
- ・スープを飲む
- ・おしくらまんじゅうをする
- ・火をつけて暖める
- ・体を動かして汗をかく
- ・うちは練炭だからだいじょうぶ

2.炊飯器でご飯が炊けません。どうしますか？

- ・パンを食べる
- ・カップラーメンを食べる
- ・缶詰を食べる
- ・水を飲む
- ・お菓子を食べる
- ・火を起こして米を炊く
- ・買ってくる
- ・残り物を食べる
- ・おかずをいっぱい食べる
- ・うちはガス炊飯器だからだいじょうぶ

3.夜、電灯がつかなくて真っ暗です。どうしますか？

- ・ライトで明るくする
- ・懐中電灯をつける
- ・その場で寝る
- ・ライターをつける
- ・ランプをつける
- ・ホテルを家に持ってくる
- ・花火をつける
- ・ろうそくにマッチで火をつける

4.温水器なので、お風呂に入れません。どうしますか？

- ・我慢する
- ・そのまま寝る
- ・シャワーを浴びる
- ・銭湯に行く
- ・うちはボイラーだからだいじょうぶ

5.楽しみにしていたテレビも見れません。テレビゲームもできません。どうしますか？

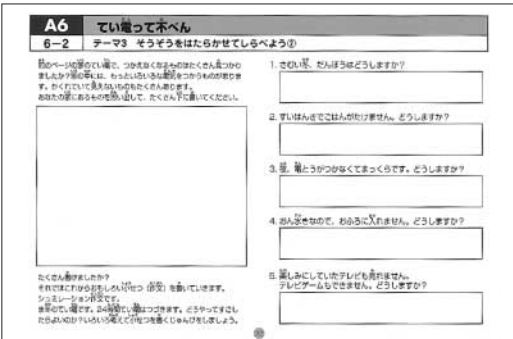
- ・我慢する
- ・ゲームボーイをする
- ・ラジオを聞く
- ・諦める
- ・しりとりで遊ぶ
- ・八つ当たりをする
- ・灯りを照らして本を読む
- ・隣の家で見る
- ・中継先まで行く
- ・懐中電灯で将棋をする

ここでは、小説作りのための材料集めである。とてもおもしろい実践である。1～5までの発表では盛り上がった。たくさんのアイデアが出た。1～5までの発表を、発表だけにとどまらせたのはもったいなかった。本当にその方法でだいじょうぶかという討論形式にすると、思考がさらに深まり、もっと新しいアイデアが出たかもしれない。

3.昔と今の暮らしの違いを調べる

今の暮らしと昔の暮らしを比べて、今のよいところ、昔のよかったことを書いてみよう。

●参考資料



▲エネルギー学習スキル Aコース (p.22)



▲同左 (p.26)

指示1 26ページを開きなさい。最初の文章を読みます。さんはい。

電気のおかげでべん利でかいてきな暮らしができるようになりました。でもべんりすぎて、昔のように、いろいろ工夫することやがまんすることをわすれているようです。昔の暮らしの工夫をおじいちゃん、おばあちゃんに聞いてみましょう。

発問1 「あついときの暮らしの工夫」の絵を指差しなさい。何をしていますのですか。

- ・「土に水をまいている」「花に水をやっている」

指示2 今なら、どうしていますか。絵の下に書きなさい。

- ・30秒後、次へ進む。

発問2 「さむいときの暮らしの工夫」の絵を指差しなさい。何をしていますのですか。

※以下、「物を大切にす工夫」まで同様に進む。

最後まで進んだら、発表させた。次のような意見が出た。

【あついときの暮らしの工夫】

- ・ホースで水をまく
- ・エアコンをつける
- ・海へ行く
- ・日よけに木を植える
- ・プールに入る
- ・せんぷうきですずしくする

【さむいときの暮らしの工夫】

- ・ストーブをつける
- ・厚着をする
- ・外で遊ぶ
- ・エアコンの前にいる
- ・ふとんにくるまる
- ・こたつに入る
- ・ファンヒーターをつける

【ゴミを出さない工夫】

- ・リサイクルする
- ・たいひにする
- ・空き缶やペットボトルをおもちゃにする

【ものを大切に作る工夫】

- ・ぞうきんにする
- ・またぬう
- ・買いかえる
- ・おさがりにする
- ・しまっておく
- ・ミシンで直す
- ・新しいものを着る

指示3 昔の暮らしの工夫を、おじいちゃんたちに聞いて、ここの枠の中に書いてきなさい。これも宿題にします。

次の日、指名なし発表で発表させた。内容は以下のとおりである。

【今のよいところ】

- ・夜遅くまで店が開いている
- ・学校のは行き帰りは車で行ける
- ・電気のおかげで早く簡単にできる
- ・掃除や洗濯が楽にできる
- ・時間に余裕ができ、趣味やレクリエーションができる
- ・クーラーがあるので快適に過ごすことができる
- ・体力をあまり使わずに家事ができる
- ・遠いところへ早く行ける
- ・スイッチひとつで何でもできちゃう
- ・ものが豊富で便利で何でも手にはいること

【昔のよいところ】

- ・自然がいっぱいあった
- ・電気をつくるために自然を壊すことはなかった
- ・煙がなくて空気がきれいだった
- ・昔の人は働き者だった
- ・水がきれいだった
- ・のどかで自然と調和して暮らしていた
- ・自分たちの知恵を使っていた
- ・お金をかけなかった
- ・家庭みんなで協力し合えることができた
- ・高い建物がなくて景色がきれいだった
- ・いろんなものを大切にした
- ・手作りだった
- ・子どもがいろいろ仕事を親から教えてもらいコミュニケーションがとれた
- ・こわれたら修理をして使っていた
- ・ゴミを出さない工夫をした
- ・何もなかったけど一生懸命働いた
- ・スピード時代ではなかった
- ・ものが少なかったけど取り合いをしないで仲良くした

3世代家族の多い学区なので、家に帰ってすぐにおじいちゃんやおばあちゃんに聞いた子が多かった。子どもたちは、おじいちゃんたちの話を聞くことで、昔の暮らしの様子を想像できたようである。